

レタスのマルチ栽培に於ける栽植様式

(園試・高冷地開発センター)

1. 背景と収りい

レタスの経営安定化を図るためには、一層の品質、収量の向上が必要である。栽植様式も年々この方向で見直されてきているが、現状の株数はふ当り750株程度が多い。

そこで、レタスの作型ごと栽植密度、栽植様式について検討したところ、2条栽植方式により収量が向上し、品質等にも大差がないことが判明したので指導上の参考に供する。

2. 技術内容

(1) レタスの栽植密度は現行より15%程度多い、ふ当り850株程度とする。

(2) この栽植密度を確保するための栽植様式は、畝幅100cm、株間23~24cm、2条栽植とする。この場合の条間は初夏どり(3月下旬~5月上旬まき)で45cm、夏秋どり(5月中旬~7月上旬まき)では40~45cmとする。

(3) 適応地域 高冷地帯

3. 指導上の留意事項

(1) この栽植様式の適応作型は初夏~夏秋どり(3月下旬~7月上旬まき)とする。

(2) 作型ごとの使用品種は3~5月上旬まきまではカルマー系(マイルクス等)、5月中旬以降はエンパイヤー系(エニバーズ等)を前提としたものである。

(3) 作型ごとの使用マルチは、3~4月まきで透明マルチ、5月中旬~6月まきは白黒ダブルマルチ、それ以外の作型では黒マルチを使用する。

4. 当該事項にかかわる試験研究課題名

レタスの多条マルチ等の利用による増収対策 — 栽植様式 — (昭58~60年)

レタスマルチ移植栽培に於ける栽植様式 (昭61年)

5. 参考文献, 資料

岩手県園芸試験場高冷地開発センター試験成績書(昭58~61年)

6. 試験成績の概要

表1. 初夏どり作型のは種期別栽植密度と球重、収量の相関

| は種期 (年次) | 品 種 | 相関係数 | | 肉係式(収量) |
|--------------------|-------|-------|--------|------------------------|
| | | 球重 | 収量 | |
| 4月1日まき (58~60年) | マイルクス | -0.10 | 0.88** | $y = 322 \ln x - 1775$ |
| 5月8日まき (61年) | ミス1 | -0.14 | 0.91** | $y = 268 \ln x - 1490$ |

注) y: 収量 x: 株数

表2 夏秋どり作型のは種期別栽植密度と球重、収量の相関

| は種期 (年次) | 品 種 | 相 関 係 数 | | 関 係 式 (収量) | 備 考 |
|---------------------------------|-------|---------|--------|------------------------|---|
| | | 球 重 | 収 量 | | |
| 5月20日 (58.59.60) (58.60年) | エニルス | 0.31 | 0.89 | - | 腐敗が多発した 59年を除くと収量 に高い相関がみられ た。 |
| | | 0.48 | 0.82** | | |
| 5月30日 (60年) | セニル | 0.40 | 0.91** | $y = 267 \ln x - 1490$ | |
| 7月1日 (58.59.60) (58.59) | マイルタス | -0.14 | 0.11 | - | 異常高温年の60年 を除くと収量に高 い相関がみられた。 |
| | | 0.02 | 0.78** | | |
| 7月1日 (58.59.60) (58.59) | エニルス | -0.12 | 0.33 | - | 同上 |
| | | -0.05 | 0.79** | | |

表3 マルテ様式ごとの特性と総合評価

| 作 型 | マルテ様式 | 生育 | 収量 | 品質 | 作業性 | 作型適応性 | 環境適応性 | 総合評価 |
|------------------|-------|----|----|-----|-----|-------|-------|------|
| 初 夏 ど り | 2条マルテ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 全面マルテ | ○◎ | ○◎ | ○ | △ | ○ | △ | △~○ |
| | 多条マルテ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | △ |
| 夏 秋 ど り | 2条マルテ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 全面マルテ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| | 多条マルテ | ○ | ○ | △~○ | △ | △~○ | ○ | △~○ |

注) ◎良 ○並 △悪者

環境適応性: 降雨時傾斜地における下方土壌の浸食等